

決算審査での主な質疑

質疑 企業誘致推進員の実態をどう考えるか。今後の体制はどうするのか。

答弁 企業誘致推進員については、大学等との関係が重要と考え、これまでの人脈を期待し研究職の嘱託職員を東京に配置したが、勤務実態を見れば、結果として当初の意図のとおり機能していなかった。本年4月から新たに2市1町で企業立地センターに推進員を配置したことから、企業誘致体制をどう強化するか、新年度に向け検討したい。

質疑 ケアホーム認定ミス問題にかかわるこれまでの対応と最終判断、その責任についてどう考えているのか。

答弁 本件については、誤認定とその発覚時点での財務会計の事務処理において、地方自治法に抵触する違法な支出とされるミスが重なり、市民の信頼を損なうばかりでなく、市に損害を与え、誠に遺憾で申し訳なく思っている。

障がいのある二人の方の生活の場の確保を最優先に、事業者、利用者との話し合いを何度も重ねてきたが、住民監査請求後は、ある意味第三者である監査委員の正当な判断を待つて市の考え方をまとめていくほうが良いと考えたため、議会に報告する時期を失するなど、所管の委員会対応に不手際

があり、大変申し訳なくお詫び申し上げます。

本件にかかわる職員の見分については、関与の度合いなどを考慮の上、減給を含め適切に判断し、損害の補てんについては、その全額を市長、副市長、関係職員が連帯して補てんし、今会議終了後、速やかにそれらに取り組みたい。

今後は、二度とこのようなことを起こさぬように、きちんと検証をし、市としてまとめた考え方を、対応に基づく、鋭意取り組んでいくとともに、今回のことを教訓に日常的な事務処理マニュアル等、市役所全体で点検したい。

意見 これらの質疑終了後の協議の場でも一般会計決算について様々な意見が出された。

▼会派でも熟慮した結果、認定としたいが、ケアホーム認定ミス問題や企業誘致推進員の問題もあり全面的に賛成するわけにはいかない。▼ケアホーム認定ミス問題については不当な福祉部の判断だったと監査委員が言っており、当然議会として不認定とすべきだと考える。

第4回臨時会

7月24日に第4回臨時会が開催され、平成21年度函館市一般会計補正予算が満場一致で可決しました。

「地域経済対策費として5億8400万円」

議決結果 第3回定例会

◎=満場一致で可決 ○=賛成多数で可決 ▲=賛成少数で否決 ×=満場一致で否決

Table with columns for '議案' (Cases) and '意見書' (Opinion Letters). The '議案' column lists various budget items and administrative matters, while the '意見書' column lists specific requests for review. The table includes a detailed '意見書' section with sub-headers like '閉会中継続審査事件' and '閉会中継続調査事件'.

次回定例会は、12月上旬開催予定です。